

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 16 日現在

機関番号：10101

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24720120

研究課題名(和文) 癌の詩

研究課題名(英文) Cancer Poetry

研究代表者

Twiddy Iain (Twiddy, Iain)

北海道大学・メディア・コミュニケーション研究院・特任教授

研究者番号：10513848

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：当初の研究目的はイギリス、アイルランド、アメリカ、オーストラリアの現代詩の中に「癌」がどう表現されているかを分析することでした。国立図書館などでの資料収集により、学术论文の発表、国内外の学会での講演、研究書の出版を成し遂げることができました。この3年間で現代詩の中の癌の表現についての3本の論文の執筆、発表を行い、もう1本の論文も2015年に出版予定です。それに加え、日本、イギリス、アメリカにおいて、合計9の学会で研究発表も行いました。この研究の最も大きな成果は2015年9月にイギリスとアメリカで出版予定の研究書「癌の詩」で、様々な現代詩人が詩の中でどう癌を表現したかが、この本の主題です。

研究成果の概要(英文)：My original research plan was to study the representation of cancer in contemporary British, Irish, American and Australasian poetry, with the aim of producing three types of research output: peer-reviewed journal articles, national and international conference presentations, and a book-length study. I was able to complete all those research objectives, as a result of research trips to university libraries and national archive libraries. Over the three years of the project, I had three articles on the representation of cancer in contemporary poetry published by peer-reviewed journals, with another article accepted for publication some time in 2015. I made nine well-received presentations of my research at conferences in Japan, the UK and the USA. The major outcome of the research is a monograph titled Cancer Poetry, which is scheduled to be published in hardcover by Palgrave Macmillan in the UK and the USA in September 2015.

研究分野：literature

キーワード：cancer poetry contemporary poetry mimesis ethics of representation elegy medical humanities

1. 研究開始当初の背景

(1) 私は博士号候補生時代と博士号取得後に、イギリス、アイルランドの現代詩の中のパストラル・エレジーを研究する中で、多くの現代詩人が「癌」についての詩を書いていることに気づきました。現代の癌発症率が昔と比べて高いこともあり、現代詩人たちは癌を様々な形で詩の中に取り入れ、表現しています。現代詩人の中には、自分自身の癌の体験や、夫、妻、親、子供の癌にまつわる経験について書いている人もいます。また、癌は社会的・政治的出来事を表す比喩的表現としても使われています。癌についての詩を書いている現代詩人には Sharon Olds, Marilyn Hacker, Alicia Suskin Ostriker, Jo Shapcott, Audre Lorde, Douglas Dunn, Peter Reading, Paul Muldoon, Christopher Reid, Rae Armantrout, Julia Darling, Anne Sexton, Donald Hall, Michael Longley, Kathleen Jamie などがいます。

(2) 小説や物語の中で癌がどう表現されているかについての研究は数多くなされています。しかし、癌を表現した詩も多く存在するにもかかわらず、それらの詩についての詳細な研究はされていないのが現実です。例えば、Susan Sontag は著書「Illness as Metaphor」(1978)の中で、癌は詩の題材としてふさわしくないとし、癌のみを取り上げて議論することはしませんでした。そこで私は現代詩人が詩の中でどのように「癌」を表現したのか、そして、彼らがなぜ「癌」を作品に取り入れたのかを研究したいと考えました。癌を題材とする数多くの作品を研究したこの本は、癌で闘病中の方々、家族を癌で亡くした方々にとっても、意義のあるものだと考えました。

2. 研究の目的

(1) 本研究の主な目的は、過去 50 年のイギリス、アイルランド、アメリカ、オーストラリアの詩の中で、現代詩人が使った癌の表現方法などを、歴史的・批評的・分析的観点から研究し、この複雑な病気「癌」を取り巻く環境、感情的・象徴的複雑さの理解を深めることです。また、国内外の学会での講演、学術論文の発表、研究書の出版も目的のひとつです。

(2) 癌の詩の詳細な分析は、この分野を研究する学者や研究者たちにとって貴重な情報資源になると考えました。文学や言葉の中で病気がどう表現されているかを分析することで、「Mimesis (隠蔽的擬態)」について探求するきっかけにもなります。本研究により、多くの研究者が現代文学の中に象徴される癌についての分析に意欲を抱いてくれることを願っています。

(3) 本研究は、医療人文学の視点からも癌についての詩を分析し、「概念的・倫理上の理由により、癌は詩の中で表現されようがない」という通説に異議を唱えるものです。アメリカ人の作家 Susan Sontag は、癌は詩の題材としてふさわしくなく、比喩表現として使われるべきではないと主張しました。しかし、詩人は、執筆活動を通して癌と向き合わなければなりません。詩人が癌について書くこと、また、癌によって家族を亡くした経験のある人、癌の理解を深めたい人が癌の詩を読むことで、情緒的安定を得られることもあります。したがって、本研究は現代詩や医療人文学の理解を深めることにも貢献できると考えます。

3. 研究の方法

(1) 平成 24 年度は癌の詩の研究活動に加え、論文執筆と学会発表を行いました。2013 年 2 月にはオーストラリアへのシドニー大学図書館で、2013 年 3 月にはイギリスのマンチェスター大学とアイルランドのトリニティーカレッジの大学図書館と英国図書館で資料収集を行いました。平成 24 年度にフィンランド、アメリカ、日本(明治大学)での学会で発表をしました。発表の内容は主に癌の表現(特に Paul Muldoon と Christopher Reid の詩)に関するもので、平成 24 年度に 2 本の論文が査読付き学会誌に掲載されました(北海道大学の紀要 1 本と New Hibernia Review 1 本)。最初の論文は、Marilyn Hacker の詩における癌の表現を分析したもので、後者の論文は、Paul Muldoon の詩における癌の表現を分析したものです。2013 年 4 月には「癌の詩」(Cancer Poetry)をテーマにした本の出版に向けての契約をしました。

(2) 平成 25 年度は京都、ノートルダム女子大学、シドニー、ホノルル、アメリカ、明治大学で行われた学会で、Paul Muldoon の詩の中にある癌の表現について発表を行いました。平成 24 年度に査読付き学会誌に論文が 1 本掲載されました (Irish Studies Review)。

(3) 平成 26 年度は東京とホノルルで学会発表を行いました。Philip Hodgins の詩における癌の表現を分析した論文 1 本が査読付き学会誌によって受理されました (Journal of Australian Studies)。2014 年 12 月に学術書「癌の詩」(Cancer Poetry)の原稿提出を終え、2015 年 9 月に出版予定です。

4. 研究成果

国立図書館などでの資料収集により、学術論文の発表、国内外の学会での講演、研究書の出版を成し遂げることができました。この 3 年間で現代詩の中の癌の表現についての 3 本

の論文の執筆、発表を行い、もう1本の論文も2015年に出版予定です。それに加え、日本、フィンランド、オーストラリア、イギリス、アメリカにおいて、合計9の学会で研究発表も行いました。この研究の最も大きな成果は2015年9月にイギリスとアメリカで出版予定の学術書「Cancer Poetry」で、様々な現代詩人が詩の中でどう癌を表現したかが、この本の主題です。3年間という期限内で目標を達成できたことを嬉しく思います。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計4件)

Iain Twiddy, 'Conversing with Cancer: Philip Hodgins', *Journal of Australian Studies* (forthcoming, Winter 2015). 査読有り。

Iain Twiddy, 'Visions of Reconciliation: Longley, Heaney and the Greeks', *Irish Studies Review*, vol. 21, no. 4 (Winter 2013), pp. 425-443. DOI: 10.1080/09670882.2013.845411 査読有り。

Iain Twiddy, 'Cancer and the Ethics of Representation in Paul Muldoon's *Horse Latitudes*', *New Hibernia Review*, vol. 16, no. 4 (Winter 2012), pp. 18-36. DOI: 10.1353/nhr.2012.0058 査読有り。

Iain Twiddy, 'Marilyn Hacker's Cancer Poems', *Media and Communication Studies*, vol. 62 (Spring 2012), pp. 1-17. <http://hdl.handle.net/2115/49290> 査読有り。

[学会発表](計9件)

Iain Twiddy, 'Contemporary Poetry and Remission', Hawaii International Conference on Arts and Humanities, Honolulu, USA (11 January 2015).

Iain Twiddy, 'Remission in Recent Irish Poetry', IASIL Japan conference 2014, Waseda University, Tokyo, Japan (12 October 2014).

Iain Twiddy, 'Poetic Representations of Cancer', Hawaii International Conference on Arts and Humanities, Honolulu, USA (11 January 2014).

Iain Twiddy, 'Cancer and Conflict in Recent Irish Poetry', ISAANZ conference,

University of New South Wales, Sydney, Australia (6 December 2013).

Iain Twiddy, 'Conversing with Cancer', IASIL Japan conference 2013, Kyoto Notre Dame University, Japan (12 October 2013).

Iain Twiddy, 'Poetic Approaches to Cancer', 3rd British and Irish Contemporary Poetry conference, University of Manchester, UK (12 September 2013).

Iain Twiddy, 'Grief and Responsibility in Christopher Reid's *A Scattering*', Hawaii International Conference on Arts and Humanities, Honolulu, USA (13 January 2013).

Iain Twiddy, 'Bringing It All Back Home: Paul Muldoon's *Elegiac Voyages*', IASIL Japan conference 2012, Meiji University, Tokyo, Japan (7 October 2012).

Iain Twiddy, 'Monstrous Bodies: Contemporary Cancer Poetry', Helsinki Poetics Conference, Annantalo Arts Centre, Helsinki, Finland (25 August 2012).

[図書](計1件)

Iain Twiddy, *Cancer Poetry* (Palgrave Macmillan, forthcoming, September 2015), 240.

[産業財産権]
出願状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

Twiddy Iain (トウイッディ イアン)
北海道大学・大学院メディア・コミュニケーション研究院・特任教授
研究者番号：10513848

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：